

トルコ選挙、エルドアン大統領が勝利宣言

ポイント① 大統領再選、与党議会過半数確保

6月24日に行なわれたトルコ大統領選・総選挙では、国営アナトリア通信が現職のエルドアン大統領が再選に必要な過半数の票を得たと報じ、エルドアン氏は勝利宣言をしました。アナトリア通信によると、開票率99%時点でのエルドアン氏の得票率は52.5%とのこと。一方、国会（一院制、定数600）の総選挙では、エルドアン大統領が率いる与党の公正発展党が293議席、民族主義者行動党が50議席を獲得し、両党による連立与党が過半数を制した模様です。

トルコでは2017年の国民投票で承認した憲法改正を受け、議院内閣制から大統領制への移行が決まっています。15年にわたり国政のトップに君臨してきたエルドアン氏は、今回の選挙での勝利で一段と強大な権限を手に入れたと言えます。

ポイント② トルコ・リラの買戻しは一時的

今年の4月頃からトルコ・リラに下落圧力がかかっていますが、エルドアン大統領は、選挙を前にして国内経済に悪影響が生じることを懸念して、中央銀行が政策金利を引き上げるのを止めようと圧力をかけました。しかし、トルコ・リラの下落が加速化したことから、利上げを認め、中央銀行は連続的な大幅利上げに打って出しました。

それでも市場でのトルコ・リラの下落圧力は根強いものがありました。しかし、選挙の結果を受けて金融市場では安心感がでて、25日にはトルコ・リラが一時的に買い戻されました。

ポイント③ インフレの抑制が課題

エルドアン大統領は、選挙に勝利すれば、金利の引き下げを行なうとしてきました。ただ、あまりに早急に利下げに動けば、再びトルコ・リラに下落圧力がかかる懸念があります。トルコ中銀は通貨防衛のため、トルコ・リラ買い為替介入を行ってきたため、外貨準備が大幅に減少しており、為替変動に対する耐性が低下していると見られます。

まずは、10%を超えているインフレ率の引き下げや経常収支赤字の削減に向けた経済構造改革や緊縮策を打ち出して、金融市場での信認を取り戻し、インフレ期待や通貨下落観測を抑制することが求められるでしょう。選挙の勝利で大きな権限を得たエルドアン大統領が、必要な政策を打ち出すかどうかが目注されます。

重要
イベント

6月29日 トルコ貿易収支（5月）
7月3日 トルコ消費者物価指数（6月）
7月24日 トルコ金融政策発表

図1：トルコ・リラの対米ドル、対円為替レート



(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：トルコの長短金利と政策金利



(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図3：トルコの外貨準備高



(出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。